

## 日本工業標準調査会 標準部会 第25回 窯業技術専門委員会 議事要旨

1. 日時 : 平成20年8月25日(月) 14:00~16:30

2. 場所 : 経済産業省 別館5階513共用会議室

3. 出席者 : 7名

植松委員長(長岡技術科学大学)、鶴澤委員(硝子繊維協会)、荻原委員(鹿島建設(株))、加山委員(黒崎播磨(株))、福地委員(日本板硝子(株))、町田委員(株日立製作所)、村井委員((財)日本規格協会)

欠席者 : 4名 小澤委員(JFEスチール(株))、阪井委員(日本ガイシ(株))、永田委員(東邦テナックス(株))、山内委員((独)産業技術総合研究所)

関係者 : 11名

R1701-4 : 竹内((独)産業技術総合研究所)、駒木((社)日本ファインセラミックス協会)、田辺((社)日本ファインセラミックス協会)

R1701-5 : 関口(日本ゼオン(株))、竹内((独)産業技術総合研究所)

R1684 : 山口(東京大学)、駒木((社)日本ファインセラミックス協会)、田辺((社)日本ファインセラミックス協会)

R2016-1 : 朝倉(岡山セラミックス)、小林(耐火物技術協会)

R2115 : 同上

R7202 : 野口(東海カーボン(株))、金子(炭素協会)

TS R0002 : 宮島((独)産業技術総合研究所)、平塚((独)産業技術総合研究所)

事務局 : 3名

平野、畠山、森野(経済産業省 産業基盤標準化推進室)

### 4. 議題

- (1) 前回(第24回 H20. 4. 3)議事録の確認.....資料 1
- (2) 平成20年度審議計画の報告.....資料 9
- (3) 2008年版国際標準化アクションプランの報告.....資料 10
- (4) 平成20年度基準認証研究開発事業(窯業分野)の報告.....資料 11
- (5) 日本工業規格案(制定)の審議
  - ① R1701-4 ファインセラミックスー光触媒材料の空気浄化性能試験方法  
ー第4部:ホルムアルデヒドの除去性能.....資料 2
  - ② R1701-5 ファインセラミックスー光触媒材料の空気浄化性能試験方法  
ー第5部:メチルメルカプタンの除去性能.....資料 3
  - ③ R1684 ファインセラミックスー電流遮断法による固体酸化物形  
電気化学セルの単セル分極測定方法.....資料 4
  - ④ R2016-1 耐火物製品及び耐火物原料中の硫黄の定量方法  
ー第1部:重量法及び滴定法.....資料 5
- (6) 日本工業規格案(改正)の審議
  - ① R2115 耐火物の通気率の試験方法.....資料 6
  - ② R7202 人造黒鉛丸形電極のテーパねじの角度及び有効径測定方法.....資料 7
- (7) 標準仕様書(TS)(制定)の審議
  - ① セラミックスのき裂進展抵抗特性(R曲線)試験方法.....資料 8

### 5. 議事

(1) 前回議事録の確認

議事録の取り扱いについて事務局より以下の説明を行い、前回議事録(第24回分)の説明は省略した。

<事務局説明内容>

今までは、次回委員会で議事録（案）の承認を行っていたが、審議会の透明性を重視する観点から、速やかに議事録を公開することとするため、今後は次回委員会を待たずに、事務局にて作成した議事録（案）を、Eメールで委員に送り承認をいただき、その後JISCのHPに掲載することとする。よって、次回の委員会より、前回議事録は、参考資料として配付する。また、議事要旨については、委員会の翌日に、JISCのHPに掲載することとする。

(2) 平成20年度審議計画の報告

資料9に基づいて事務局から説明があった。

(3) 2008年版国際標準化アクションプランの報告

資料10に基づいて事務局から説明があった。

(4) 平成20年度基準認証研究開発事業（窯業分野）の報告

資料11に基づいて関係者から説明があった。

(5) 日本工業規格案（制定）の審議

① R1701-4 ファインセラミックスー光触媒材料の空気浄化性能試験方法

－第4部：ホルムアルデヒドの除去性能

資料2に基づいて関係者から説明があり、承認された。

② R1701-5 ファインセラミックスー光触媒材料の空気浄化性能試験方法

－第5部：メチルメルカプタンの除去性能

資料3に基づいて関係者から説明があり、承認された。

③ R1684 ファインセラミックスー電流遮断法による固体酸化物形

電気化学セルの単セル分極測定方法

資料4に基づいて関係者から説明があり、4.1（形状及び寸法）の「試験片及び両電極の面積は、あらかじめJIS B 7507に規定するノギスにより、0.1 mmの精度で測定する。」の記述を修正することで承認された。

④ R2016-1 耐火物製品及び耐火物原料中の硫黄の定量方法—第1部：重量法及び滴定法

資料5に基づいて関係者から説明があり、8（報告）に「f) その他特記事項」を追記することによって承認された。

(6) 日本工業規格案（改正）の審議

① R2115 耐火物の通気率の試験方法

資料6に基づいて関係者から説明があり、5.1.3（試験片ホルダ）の図2及び図3中の線を適切に記載することで承認された。

② R7202 人造黒鉛丸形電極のテーパねじの角度及び有効径測定方法

資料7に基づいて関係者から説明があり、報告の箇条を追加することで承認された。

(7) 標準仕様書（TS）（制定）の審議

① セラミックスのき裂進展抵抗特性（R曲線）試験方法

資料8に基づいて関係者から説明があり、下記を行うことで承認された。

①-1 タイトル及び適用範囲を適切ものに修正する。

①-2 6.2.2の細分箇条の題名を「試験片圧貫通切欠きを用いる場合」から「試験片厚貫通切欠きを用いる場合」に修正する。

以上